

第22回 チョウ類の保全を 考える集い



【お申し込みはこちらから】



2月14日(土) 12:50～18:30

オンライン開催 (Zoom ウェビナーを利用)
参加費・参加要件：無し

お申し込み先

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_gsNzK9uLTgaEWA7qhOgHXg

参加には前日までの事前登録が必要です。早めの登録をお願いいたします。

インターネットに接続できるコンピュータまたはスマートフォンが必要です。

当日までに Zoom アプリをコンピュータまたはスマートフォンにインストールする必要があります。

主催：認定 NPO 法人 日本チョウ類保全協会 事務局 140-0014 東京都品川区大井 4-1-5-201

TEL/FAX 03-3775-7006 Email:jbcs@savebutterflies.jp

第一部 シカ問題と昆虫類の保全 13：00～13：40

シカの状況と今後の見通し

藤木大介氏（兵庫県立大学自然・環境科学研究所）

シカの食害が自然環境に与える影響とこれまでの対策を振り返り、これから自然がどのような姿になっていくのか、その見通しについてご紹介いただきます。

第二部 チョウ類のモニタリング調査 13：40～14：10

静岡県浜松市の緑地公園におけるチョウのモニタリング調査

許山久美子氏（浜松市環境学習指導者）

モニタリング調査全体の結果と解析

小長谷達郎氏（奈良教育大学）・内海 邑氏（日本大学）・徳嶋賀彰氏（奈良教育大学）

チョウのモニタリング調査の内容や調査結果についてご紹介いただきます。

第三部 チョウや昆虫類の保全活動 14：10～15：40

里山再生サークル「匠」の取り組み

大学生による昆虫類や里山の保全活動についてご紹介いただきます。

絶滅危惧のチョウ・昆虫類の活動報告

日本チョウ類保全協会が各地で取り組んでいる、神奈川県のギフチョウやチャマダラセセリ、フサヒゲルリカミキリ、ヒヨウモンモドキ、ツシマウラボシシジミ、ミヤマシジミなどの保全活動について、連携している方々とともにご紹介します。

第四部 チョウのおかれた状況と今後の保全 15：50～18：30

日本における気候変動がチョウにもたらすリスクと今後の課題

宮下直氏（東京大学）・松葉史沙子氏（京都大学）・中村康弘氏（日本チョウ類保全協会）

気候変動によるチョウの生息状況の変化予測や、移住支援などの具体的な対応に向けた課題についてご紹介します。

オランダにおける気候変動がゴマシジミ類の保全に与える影響（同時通訳あり）

Michiel F Wallis DeVries 氏（De Vlinderstichting：オランダチョウ類保全協会）

オランダにおいて気候変動による乾燥化の影響でゴマシジミが絶滅の危機に瀕している現状や、同国におけるチョウの保全の取り組みについてご紹介いただきます。

ヨーロッパにおけるチョウの現状と保全の取り組み（同時通訳あり）

Martin Warren 氏（Butterfly Conservation Europe：ヨーロッパチョウ類保全協会）

ヨーロッパにおける最新のレッドリストをとりまとめた Warren 氏を迎えて、ヨーロッパにおけるチョウ類の現状や保全の取り組み、今後の戦略についてご紹介いただきます。

総合討論